

20信建水第137号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

長野県上水内郡
信濃町長 松木重博



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平素より町行政にご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、標記のことについて、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県 信濃町

現在建設中あるいは計画中の道路の大半は、地域住民にとって切望されているものと思う。しかし、大都市に居住する人々はその声の大きさを地方の切なる声を踏みにじろうとしているように感じられる。田舎町にもそれなりの市街地があり、日常の救急活動や子供達の通学時の安全対策等問題が山積しています。とりわけ「限界集落」「消滅集落」などと声高に問題視されている昨今の現状は、今まで中央にのみ集中してきた社会インフラ整備の結果、人も企業も都市へと流れ、地方の活力を根こそぎ吸い上げてしまった。

今後は均衡のとれた国土づくりのためにも、今まで日の当りの薄かった地方への道路行政を是非考え、実行をお願いしたいものです。しかし、これからのことを考えるとき、少ない税を無駄にしないためにも、ランニングコストを考え初期投資が多少高めについたとしても、メンテの少なくて済む工法を取り入れていただきたいと思っています。例えば排雪の不要な道路、崩落危険箇所を迂回、トンネル化、毎年のようにクラックの入る道路の路床の大幅改良、歩道の確保と景観への配慮、ガードレールや縁石のあり方等です。また、道路の補修時のオーバーレイ等で路面がその都度高くなり、周囲の人家の敷地より高くなってしまい、結果として雨水等が敷地に入ったり、また人家の水はけが悪くなり、敷地がいつまでもジメジメしてしまう所も見受けられます。是非改善していただきたいと思っています。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

主要地方道を始め町村道のいわゆる生活道路や観光を主力産業としている観光道路の痛みが激しく見られる。また、雪国の道路の問題として年々除排雪の難しさが生じてきている。これは町村内の一部地域への住宅の密集化による排雪場所の確保の難しさと温暖化によるものと思われるが、雪の湿度の上昇化による重機の馬力不足（細い道路には大型重機が入れない）等です。

また、ガードレール等に車でぶつかり、破損したまま逃げたしまった所や道路脇の側溝より溢れ出た小石、土等の未清掃部分（ゲリラ豪雨のため）、更には道路脇からの木々の枝の張り出し等、維持管理の行き届かない所が多い。

様式 ②

長野県 信濃町

○課題

排雪作業の難しい所（将来的なランニングコスト、路線延長を視野に入れて）

- ・ ヒートシंकパイプの埋設による融雪（ランニングコストゼロ）
- ・ 町内のパトロールの強化（住民への協力、依頼を含め）
- ・ 維持管理の方法論の見直しを含め再検討

以上が考えられるが予算不足が最課題である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域を目指すべき将来像

長野県 信濃町

全国各地に見られる過疎化の減少、これより生ずる幾多の問題（限界集落→消滅集落、山林の荒廃、遊休農地の荒廃、住民の離町等）。全国が道路行政を従来より大幅に見直し、あるいは大幅転換をされると、国土の荒廃は更に加速していくものと考えられます。

私は今後の信濃町を想うとき、町内の集落の中には一本しか連絡道路のない地区が数箇所あり、災害時の孤立を免れない状況の改善が喫緊の課題としつつも、道路の整備、交通の利便さを確保することで、地域住民の生活の「安心、安全、安定」を構築し、更には広大な空地ともいえる自然豊かな土地を有する当町ですから、そのような環境にふさわしい企業の誘地を計ってまいりたいと考えています。また、黒姫高原、野尻湖とすばらしい観光資源を持ち合わせていますが、まだまだ見て知っていただきたいビュースポットに誘客を図り、当町のおいしい農産物を堪能していただく事により、信濃町の農業従事者と観光事業に携わる人達に活力を与えていかねばと考えています。

以上のことを具現化できるも、できぬも全て道路の整備及び維持管理に端を発するものと思っております。地域の人々が祖先より受け継いだ土地を守り、誇りを持って次世代の人たちへ継承していくためにも生活道路、産業道路は不可欠です。また生活弱者の安全面や地域振興策の面からの道路の新設、整備も欠かすことのできない問題と思っております。

「道無きところに人は集いませんし、人集わざるところに商いは生じません、商いのないところに活力は生まれません」この信念で地域の活性化を実現したいと思っております。更に雪国であっても雪のない道路、滑って転倒する心配のない道路、しかもランニングコスト「ゼロ」の道路整備ができればと願っております。

その意味で信濃町が国土交通省サンプル地としていただければ幸いです。